

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和3年11月3日(水) 18:40~19:10
1. 初期支援(はじめのかかわり)	メンバー	平阪 山村 久國 加藤 水谷 大橋 田中 鈴木

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	9人	5人	0人	16人

前回の改善計画	業務の隙間時間に記録が読めるように声かけをしていく。 様子や変わったことについて、より記録に残していく。
前回の改善計画に対する取組み結果	パソコンを譲り合って記録したり、業務の合間で記録を読んだり、以前より出来ていると思う。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	5	8	3	0	16
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	0	14	1	1	16
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いで声掛けや気遣いができていますか?	2	11	3	0	16
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	0	10	5	1	16

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>ケアマネが準備してくれる情報は事前に読んでいる。 記録はパソコンを譲り合って以前よりは出来ている。 各自が自覚により、認識不足な情報を取りこむように努めていると思う。 出来るだけ声を掛けたり会話するようにしている。</p>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>なし。 初期支援については、時間的に情報収集が十分できていない。 家族・介護者の不安など、あまりわかっていない。 コロナで電話でのやりとりだけになる時期があったので、つきつめて考えることが出来づらいこともあった。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<p>ケアマネ以外の職員も面接や担当者会議に参加してもらい、初期支援として顔つなぎをする。(コロナ禍の状況にもよるが) 直接声をきけるようにする。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年11月3日(水) 18:40~19:10

2. 「～したい」の実現(自己実現の尊重)

メンバー 平阪 山村 久國 加藤 水谷 大橋 田中 鈴木

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	11人	4人	1人	16人

前回の改善計画
実践した、関わった内容を記録に残して、またミーティングで共有する。それを担当で拾って関わりの内容を検討する。介護計画書を新しい物に移行することで『～したい』がより明確に確認できるようにする。

前回の改善計画に対する取組み結果
介護計画書を新書式に移行したことで以前より意識出来ている。
担当による個別の取り組みはあまり出来ていない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	「本人の目標(ゴール)」がわかっていますか?	0	11	4	1	16
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	1	10	5	0	16
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	0	8	8	0	16
④	実践した(かかわった)内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	0	11	5	0	16

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
自分が実践したり、関わったことは記録に残し、確認している。
担当制が定着し、介護計画書を意識して取り組めるようになった。
日誌等を小まめにみるように心がけて関わりの内容を把握することに努めている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
「～したい」という意欲や思いを引きだす、くみ取ることがあまり出来ていない。
本人の『～したい』を目指した個別の取り組みを実践する時間が持てていない。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)
『～したい』に着目して、個別の取り組みにもう少し力を入れる。実践に移す。(関わりによってくみ取ること、時間の確保)

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年11月3日(水) 18:40~19:10

3. 日常生活の支援

メンバー 平阪 山村 久國 加藤 水谷 大橋 田中 鈴木

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	4人	8人	4人	人	16人

前回の改善計画
引き続き、ちょっとしたことにも気づけるように。ミーティング等で共有し深めていく。

前回の改善計画に対する取組み結果
ミーティングで、ご利用者のちょっとした様子なども共有出来ている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	0	2	12	2	16
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	5	10	1	0	16
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	1	7	8	0	16
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	5	10	1	0	16
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	2	12	2	0	16

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
ご利用者の気持ちを聞く、体調の変化があればすぐに他の職員に報告していると思う。
ミーティングや記録で伝えあえている。
ご本人の様子は、次に訪問に行く職員や日勤責任者など、職員間で伝えあえている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
以前の暮らし方については10個以上把握できていない。
今の生活の着目しており、以前の暮らしに着目することが少ない。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)
生活歴アンケートを実施する(ご家族・ご本人)
ちょっとした会話の内容から、情報をまとめていく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年11月3日(水) 18:40~19:10

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 平阪 山村 久國 加藤 水谷 大橋 田中 鈴木

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	0人	9人	7人	16人

前回の改善計画
事業所内の援助だけにこだわらず、ご利用者の生活にどのような地域資源が必要か、地域資源はどのようなものかを考えていく。 地域資源についての理解を深めるため、施設長にも地域資源について教えてもらう。
前回の改善計画に対する取組み結果
コロナ禍で地域とのつながりも最小限であり、地域資源についてはなかなか考えられていない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	0	11	4	1	16
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	0	9	5	2	16
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	0	7	8	1	16
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	0	0	9	7	16

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	長年関わっている方も多く、地域のことも何となくわかっている。 意識して本人が良く行く店や、普段の過ごし方を聞き取るようにしている。 コロナ禍でも最小限のつながりは維持出来ていると思う。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	地域資源について、話し合ったり理解を深める機会がなかった。 それぞれのご利用者の地域の民生委員の把握や、地域資源は見つけられていない。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	地域資源についての勉強をする。→会議内での学習会実施を行う。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年11月10日(水) 17:30~18:30

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 久國 溝口 水谷 大橋 山村

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	11人	3人	0人	16人

前回の改善計画	<p>体調不良者は宿泊できるという安心感があったが、感染予防対策もあるため、今後どうしていくのか。今後の宿泊のルールを検討し、方向性を決めていく。 ケアについては、よりよい生活のため、出来る事、試してみる事などをもう少し掘り下げて考えられるようにする。</p>
前回の改善計画に対する取組み結果	<p>熱発者は基本的に宿泊してもらわないルールだが、熱発の理由がはっきりしている(検査を受けてコロナはマイナスである)時は宿泊していただいた。 柔軟な支援が出来ていると思う。ケアについては、ミーティングで意見を出して試している。出来ている人と出来ていない人がいるかも。</p>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	0	6	8	2	16
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	6	8	0	2	16
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができますか?	7	8	1	0	16
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	6	9	1	0	16

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>その時に必要と思われることを柔軟に対応している。 ミーティングで共有して、申し送りも出来ている。</p>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>地域の資源の利用が出来ていない。 長期の宿泊があったり、ベッドが4床しかないため、宿泊を譲っていただくなど希望通りのサービスを提供できないことがあった。(そのかわりに訪問等には入っているが)</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<p>その日その時の本人のニーズだけでなく、この先どう過ごしたいか、この先どうするか等、先を見通した援助や動きの提案をしていく。ご家族の介護力の評価をしたり、この先の見通しについての質問やアンケートなどを行う。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年11月10日(水) 17:30~18:30

6. 連携・協働

メンバー 久國 溝口 水谷 大橋 山村

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	3人	8人	4人	16人

前回の改善計画	引き続き、勤務の工夫とイベントの把握を行う。
前回の改善計画に対する取組み結果	学区長会議等での情報収集や、聚楽だよりをみて確認していたが、しっかり把握は出来ていなかった。イベントは中止になることが多く参加はできず。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	その他のサービス機関(医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所)との会議を行っていますか?	1	3	4	8	16
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	0	0	5	11	16
③	地域の各種機関・団体(自治会、町内会、婦人会、消防団等)の活動やイベントに参加していますか?	0	0	3	13	16
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	0	0	3	13	16

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること コロナ禍でも最小限の連携は出来ていると思う。
--------	--

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること コロナ禍でイベント自体自粛されているため参加が出来ない。 概ねの職員が外部の機関と直接的に関わっていない。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) コロナの状況を見つつも、サービス機関との会議に、ケアマネや役責以外の職員も参加できるように考える。 引き続き、イベントの把握と勤務の工夫を行う。 避難訓練など、地域の方と一緒に実施できるか検討する。
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年11月10日(水) 17:30~18:30

7. 運営

メンバー 久國 溝口 水谷 大橋 山村

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	5人	8人	3人	16人

前回の改善計画
引き続き日々働く中で、地域の特性を知っていく。地域密着型サービス、小規模多機能への理解を深める。外部の研修など、他を知る機会を検討する。

前回の改善計画に対する取組み結果
外部への研修などは実施できていない。訪問数が多いので、地域に出ており、そこで知り得た情報もある。管理者が地域密着型サービスや小規模多機能に関するオンライン学習会に参加している。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか?	2	8	5	1	16
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	2	12	1	1	16
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	0	0	6	9	15 (未回答1)
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取り組みを行っていますか?	0	2	7	6	15 (未回答1)

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
苦情等はミーティングや会議で振り返り、対応している。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
コロナの影響で研修等に参加できていない。また地域の協働した取り組みも出来ていない。事業所の在り方については、日々職員間で話す事もあるが、そこまで深めて話せているかといえば出来ない。運営推進会議も対面での実施がほぼなく、地域からの意見はあまり拾えていない。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)
職員会議や事業所の運営に関しては年間計画を立てて、学習会やイベントなど予定をあらかじめ決めておくことで、勤務の調整をしたり、準備をしたりと計画的にできるようにする。
小規模部会の介護部会に参加する。
会議もしくはアンケート、ヒアリング、ケース検討を通じて、事業所の在り方について話をしていく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年11月11日(木) 17:30~18:00

8. 質を向上するための取組み

メンバー 平阪・加藤・水谷・田中・久國

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	5人	4人	6人	16人

前回の改善計画	引き続き、学習会や研修の参加を年度内に全員1回は行けることを目標にする。研修案内をまとめているのでこまめに確認するようにする。
前回の改善計画に対する取組み結果	コロナ禍で、リモートでの研修が多く、PCの操作に慣れていない職員は、積極的に参加できていない。まとめていた研修ファイルを見ることを失念している

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	0	5	4	8	16
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	2	1	4	8	16
③	地域連絡会に参加していますか	0	1	1	13	15 (未回答1)
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	2	8	1	5	16

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること リスクマネジメントは会議で出来ている。ひやりはっとや出来事を積極的にあげるようにしている。自宅でオンラインでの講義、研修には参加した。認知症や医療的な事は都度調べている。
--------	---

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること コロナ禍もあり、研修への参加が出来ていない。会議も中止していたり短時間化で学習会が出来ておらず。WEB研修や研修参加への積極的な声掛けや調整が出来ていない。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) 動画での短時間の研修を活用し、日勤割に組み込み、勤務時間内にできるようにするなど、職員が年に一回は研修を受けられるようにする。 適時必要なケースは検討を行う 職員会議が通常通り出来るようになれば、ミニ学習会を行う。出来ない場合は資料を配布し各自で学習する。
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年11月12日(木) 17:30~18:00

9. 人権・プライバシー

メンバー 平阪・加藤・水谷・田中・山村・久國

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	11人	4人	人	16人

前回の改善計画
トイレの中での声も聞こえやすい。耳が聞こえづらい方も多いが、声のトーンなどより意識して介助にあたる。認知症、排泄、排便等のことなどご利用者に聞こえるような場所で話さない。ご利用者の名前を出して話す事にも気を付け、個人情報、尊厳を守る。
前回の改善計画に対する取組み結果
耳の聞こえづらい方には、声のトーンを変えたり、必要な距離で声をかけるのなどの工夫ができています。訪問の申し送りに関しては、名前を出して排泄の事などフロアにおられる方に聞こえるような声で伝えてしまうなど配慮にかけていることがある。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	身体拘束をしていない	9	7			16
②	虐待は行われていない	14	2			16
③	プライバシーが守られている	2	10	4		16
④	必要な方に成年後見制度を活用している	4	9	2		15 (未回答1)
⑤	適正な個人情報の管理ができています	2	12	2		16

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	直接的な拘束・虐待はみられないと思う。話すときはできるだけ配慮するように心がけている。パソコンは画面をデスクトップに戻したり、目隠しの布をかけて工夫している。声のトーンを落とすなど気を付けている。後見人をつけている方は現在おられないが、必要な方にはこれまで活用をしてきている。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	まだまだ配慮が足りない。情報伝達をする際、力が入り、漏れている事が多いと思う。声の大きさや、話す場所への配慮が不足している。グレーゾーンの声かけをしている時がある。(ちょっと待ってください等) 禁止の声かけになりやすい。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	利用者同士の人間関係を守りつつ、適正な個人情報を管理するとはどういったことなのかを学ぶ。「ちょっと待ってください」など制止がどうしても必要な場面では、なぜ待って頂かないといけないのか、理由をご利用者に伝える。申し送り時の声のトーンや場所を変えて行うなどの配慮を行う